



神奈川県

KANAGAWA



# NPOなど

## ボランティア団体等の活動を一緒に支援しませんか



かながわ  
ボランティア活動  
推進基金21への  
寄附のお願い



### かながわボランティア活動推進基金21事業

神奈川県は、ボランティア活動の自主性、主体性を尊重しながら、NPOなどと県が協力し、協働して事業を進めていくことや、その活動を促進するための支援を目的として「かながわボランティア活動推進基金21」を設置しています。

- 子どもの健全育成・福祉・医療など（不登校支援を目的としたフリースクール等と県との協働事業、かながわ乳がん検診向上モデル事業）に関する取組 ▶ 約 2,960 万円
- 災害救援、地域協働の活性化などに関する取組 ▶ 約2,300 万円
- 組織基盤強化を図るためのアドバイザーによるサポート（伴走支援）の実施 ▶ 500 万円

基金21による  
ボランティア活動の  
支援  
約 **5,760** 万円  
令和4年度実績

寄附の方法

- ① ふるさとチョイスを利用した寄附
- ② 納付書による寄附（神奈川県電子申請システムによる手続）
- ③ かながわキントロウ☆ブックキフによる寄附



詳しくはこちら

問合せ先：神奈川県政策局政策部 NPO協働推進課 NPO支援グループ  
電話：045-210-3703(直通)

不登校支援を目的とした  
フリースクール等と県との協働事業

**(特非) 鎌倉あそび基地**

協働部署: 子ども教育支援課  
事業期間: 令和元年度～令和5年度

全国の小・中学校における不登校の児童・生徒数は年々増加しており、そのうち約4割の児童・生徒は学校外の機関等(教育支援センターや民間団体)に相談していることから、近年、フリースクール等の存在は、ますます重要となっています。

神奈川県教育委員会では、神奈川県学校・フリースクール等連携協議会を通じて情報の共有・発信や不登校相談会の実施等を18年間行ってきており、その取組は全国から注目されています。不登校の児童・生徒の置かれた状況についての社会的な理解は進みつつありますが、十分とは言えない状況です。

そこで、フリースクールLargoでは、県教育委員会と協働で不登校支援のポータルサイト「キミイロ」を立ち上げ、不登校への周知理解等を図るとともに、当事者の声を受け止め、会員が在籍する学校と連携しつつ、鎌倉ならではの多彩なワークショップを通じて、地域の方々と共に、子どもたちの学びを応援しています。



かながわ乳がん検診向上モデル構築事業

**(一社) 乳がん予防医学推進協会**

協働部署: がん・疾病対策課  
事業期間: 令和4年度～

神奈川県における乳がん検診受診率は、50%以上には至っていません。平成29年度県民ニーズ調査では、検診を受診しない理由の一位は、「忙しいから」が35.5%で、次いで「特に理由なく検診を受診しない」が29.7%でした。「健康だから必要ない」15.6%の回答を合わせると、5割近くの方が「検診による早期発見の意義、重要性」を把握していないものと考えられます。

そこで、県民へ検診の大切さを説明し、乳がんを正しく理解していただき、様々なニーズに合わせた検診モデルを構築するため、子育て、介護やワーキング・シングルマザー等、女性の多様な生活環境に合わせた検診イベントを企画し、地域自治体との連携、地域検診の活性化をめざします。このことにより、乳がんの早期発見の意義を定着させ、検診率の向上に寄与していきたいと考えています。



県内では多種多様な  
NPOが活動しているにや!  
みんな応援してね!



お問合せフォームはこちら▶